

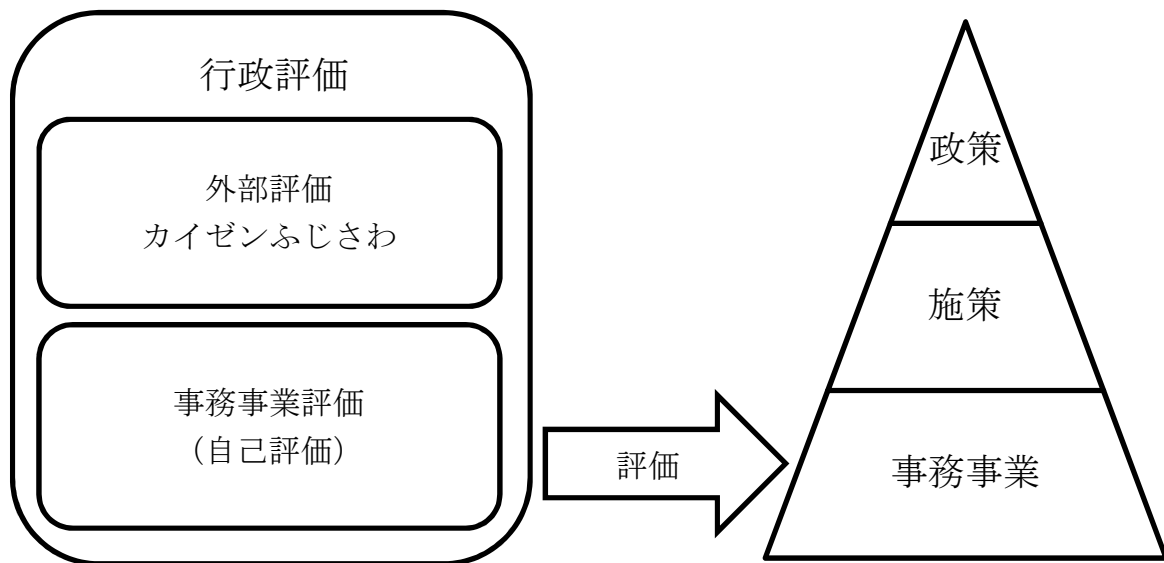
平成30年度藤沢市外部評価及び「カイゼンふじさわ」について

1 外部評価及び「カイゼンふじさわ」について

外部評価・・・本市の実施する施策や事務事業について、効率的・効果的な事業転換や事業手法の見直し・改善を図るため、外部の多様な視点からその実施状況等の評価を行うこと。（非公開会議）

カイゼンふじさわ・・・外部評価で議論した本市の実施する施策や事務事業の課題について、外部の多様な視点からその解決方法等を公開の場で議論し、そこでの様々な意見や提案を参考として、より効率的・効果的な事業転換や事業手法の見直しを図るための事業。

事務事業評価・・・事務事業の事業コストや事業実施内容、成果などを自己評価により確認することで、その事務事業の改善につなげていくこと。
（参考資料1参照）



政策・・・一定の行政目的を実現するための行政活動についての方針や方策

例：安全で安心できる交通の実現

施策・・・政策を実現するための具体的な方策や対策

例：道路交通の安全性の確保・向上

事務事業・・・施策を具現化するための個々の行政手段

例：道路補修事業 歩道整備事業 など

2 平成 29 年度の外部評価及び「カイゼンふじさわ」について

平成 29 年度は、評価対象を施策から事務事業に変更し、本市が課題であると認識している事務事業や市民の関心がある事務事業について行財政改革の視点に基づく議論・評価を行い、行政運営の改善や適正化の推進並びに市民との協働に資することを目的とし、平成 28 年度に実施した事務事業から 5 事業選定し、「外部評価」を実施しました。さらにその中から 1 事務事業選定し、「カイゼンふじさわ」を実施しました。（参考資料 2 参照）

3 外部評価及び「カイゼンふじさわ」の課題

- (1) 評価単位を施策ではなく事務事業で実施したが、外部評価の際に個々の委員から出された意見と「カイゼンふじさわ」の結果に大きな差が見られず、「カイゼンふじさわ」に求めている「議論による実施手法等の検討」部分の深まりが感じられなかった。
- (2) 事業改善手法を議論する場である「カイゼンふじさわ」が、事業への要望の場となってしまいうケースがある。
- (3) 傍聴者が少ない。
- (4) 事務事業の中の一部に課題がある場合でも、事務事業全体での評価となるため、評価があいまいになってしまう。
- (5) 5 事務事業を半日で実施したが、1 事務事業 30 分では短い上、5 事務事業は数が多いため、評価者の負担が大きい。

4 平成 30 年度の外部評価及び「カイゼンふじさわ」について（案）

(1) 目的

平成 29 年度同様に、行財政改革の視点に基づく議論・評価を行い、行政運営の改善や適正化の推進並びに市民との協働に資することを目的とします。

(2) 実施内容

ア 評価単位

事務事業単位は変更ありませんが、事務事業の中の一部についても評価可能とします。

イ 評価者

行財政改革協議会委員

ウ 実施手法

「3. 外部評価及び「カイゼンふじさわ」の課題」を踏まえ、外部評価については、3 事務事業を評価対象とし、1 事務事業の評価時間を 30 分から 50 分に増やし、評価の時間にゆとりを持たせることで、評価者の負

担軽減を図るとともに、議論に深まりを持たせます。カイゼンふじさわについては、外部評価を市民公開とすることで置き換えます。

エ 評価の視点について

事務事業の評価にあたっては、以下の点に着目した評価項目を設定します。

- (ア) 事業の目的や必要性が時代のニーズに即しているか
- (イ) 事業の成果指標はその目的を実現するのにふさわしいものか
- (ウ) 事業の今後の方向性

など

(3) スケジュール (予定)

実施月	実施内容
4月24日	第1回行財政改革協議会。外部評価実施方法について意見聴取。
5月～6月	評価対象事務事業を選定。(文書・メール等で意見集約)
6月下旬	第2回行財政改革協議会。評価対象事務事業・実施要領確定。
8月中旬～下旬	外部評価の実施。
8月～9月	評価結果を事務局で取りまとめ。
9月	外部評価実施結果報告書完成。市議会に提供・ホームページ公開。
1月	第4回行財政改革協議会。外部評価実施結果報告書を受けての市の方針を報告。
2月	市の方針について、市議会に提供・ホームページ公開。

以上